

地域の先生と「和」をもって連携したい
急性期病院として貢献し、

武田総合病院 院長

一山 智
SATOSHI ICHIYAMA



患者サポートセンターだより

地域医療連携 特集

May.2024

医療法人 医仁会
武田総合病院

先進的な医療機器の導入や他院との連携で、
よりよい医療を

当院は中核病院として、新しい医療機器を積極的に取り入れており、近年では手術支援ロボットのダヴィンチやデジタル差分血管造影装置(DSA: Digital Subtraction Angiography)を導入しました。

ダヴィンチは、人の手が届きにくい腫瘍などの手術では特に有益です。当院では泌尿器科や呼吸器外科の手術に活用され、今後は他科でも運用できるよう目指してまいります。



画像提供: シーメンスヘルスケア株式会社

DSAはカテーテルで血管内に造影剤を入れてX線撮影し、造影前の画像を差し引いて見やすくする撮影法です。通常の造影検査より造影剤の量が少なく、診断と同時に手術もできるメリットがあります。当院では精度の高い機種を使っており、解像度の高い画像が得られます。DSAは患者さんの負担が軽く、入院期間も短くなるため脳神経外科領域の患者さんが増えました。

このほかCTやMRIなどの医療機器を用意しています。またがんの放射線治療装置を武田病院グループの施設と連携したり、グループ以外にも京都大学をはじめとした大学病院や国公立の病院など、つながりのある病院・先生方と連携したりし、患者さんに必要な医療の提供に努めています。

医療法人 医仁会
武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1
TEL 075-572-6331(代表)

病院HPはこちら



患者サポートセンター

TEL 0120-72-6530(フリーダイヤル)

TEL 075-572-6530(直通)

FAX 075-572-6276(直通)

受付時間 平日 8:30~19:00

※土曜17:00まで ※日祝、祭日、年末年始を除く



救急車を積極的に受け入れ、 地域医療に貢献したい

武田総合病院 院長
一山 智

京都大学医学部附属病院副病院長、
滋賀県立総合病院総長・病院長
を務めたのち、
2023年4月に武田総合病院に着任

当院は救急告示病院として24時間、救急医療を行う体制です。

ICU、HCU、SCUを完備し、救急車で運ばれてくる患者さんの治療を行っています。当院の果たすべき役割として、救急車を原則的に受け入れる方針です。コロナ禍で難しい状況もありましたが、昨年以降5類感染症に移行しました。私は感染対策の専門家として、過度な警戒は必要なく、通常どおり救急車を受け入れるようにしましょうと訴えてきました。病院職員の幹部、科長にも意識がだいぶ浸透したのではないのでしょうか。

今は応需率が約90%であり、内科・外科・小児科・産婦人科・循環器内科・脳神経外科で当直に入る体制です。地域の患者さんや先生方に対する責務を強く意識しています。



インタビュー全文はこちら

地域の先生方に慢性期や

回復期医療を託し

当院では急性期医療を担う覚悟

今、さらに進めたいのは後方連携です。

医療機関にはそれぞれの役割があり、武田総合病院は急性期医療を担うべき存在です。慢性期や回復傾向にあるケースは外来も含めて開業医の先生に診ていただくことで、地域医療がうまく循環するのではないのでしょうか。

現在、医師の働き方改革が話題になっています。医師の負担できるリソースには限界があり、看護師は人手不足です。急性期病院はマンパワーを専門的な治療に集中させて開業医の先生と適切に役割分担をすれば、お互いを活かすことができます。そのためにも当院は地域の先生に頼られる存在でありたいと考えています。

日頃から連携を密にして、遠慮なくいろいろなことを相談していただきたいと思います。地域の先生方と共に、地域医療を支えていきたいのです。

組織でリーダーシップを発揮し、

地域の先生と「和」の心でつながりを

これまで病院管理者として様々な経験をしてきました。

組織のリーダーとしてまず大切なことは、職員に話す言葉の主旨は自分であることです。

組織の進むべき方向性を示し、いわば旗を立て、決してぶれないことです。

次に重要なことは、仕事に優先順位をつけ、いわば引き算をして、必要な仕事を職員に指示していくことです。

そうすることによって組織の持っているパワーを最大限に発揮することができると考えています。組織をまとめていく一方で、開業医の先生方と地域医療連携するためには、お互いの思いの最大公約数を見つける必要があります。それぞれの先生方に、ご自分の組織のリーダーとしてのお考えがあるので、対話を重ねながら「和」を大切に、よい関係を築いていきたいと思っています。

武田病院グループの理念である「思いやりの心、地域社会の信頼、職員相互の信頼」を実現できるように、力を尽くしてまいります。



01

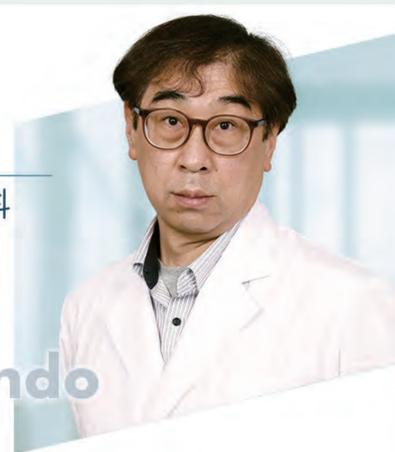
医仁会武田総合病院

新任ドクター紹介

新堂 啓祐

血液病センター/血液内科
部長

Keisuke Shindo



前田 咲弥子

透析センター
センター長
23年6月入職

Sayako Maeda



山口 智博

整形外科
医長

Tomohiro Yamaguchi



谷口 雅司

膠原病・リウマチ内科
医長
23年6月入職

Masashi taniguchi



岩越 響

循環器内科

Hibiki Iwakoshi



高橋 大介

泌尿器科

Daisuke Takahashi



山形 悠太郎

眼科
24年3月入職

Yutaro Yamagata



田中 大暉

脳神経内科
専攻医

Hiroki Tanaka



中野 宏明

皮膚科
専攻医

Hiroaki Nakano



森田 大毅

呼吸器内科
専攻医

Daiki Morita



柴田 康平

呼吸器外科
専攻医

Kohei Shibata



正田 桃子

麻酔科
専攻医

Momoko Masada



益田 祥吾

総合診療科
専攻医

Shogo Masuda



吉田 沙織

総合診療科
専攻医

Saori Yoshida



松本 琴美

循環器内科
専攻医

Kotomi Matsumoto



淡路 恒太郎

呼吸器内科
専攻医

Kotaro Awaji



鈴木 佳久

消化器内科
専攻医

Yoshihisa Suzuki



高須 志有人

消化器内科
専攻医

Syuto Takasu



02

医仁会武田総合病院

新任ドクター紹介